

親切運動の取り組みについて

富山県立小矢部園芸高等学校
生徒数 49名

1 親切運動の取り組みの紹介

「花プランターの設置」

年3回、草花系列で学ぶ生徒が中心となり、学校で育てた季節の花苗をプランターに植え、小矢部警察署、砺波警察署、石動駅、砺波駅、小矢部郵便局、砺波郵便局、JAいなば西部支店に設置したり、地域の保育園の園児と一緒に花壇苗に植栽したりして、地域の環境美化に取り組んでいる。



「清掃美化活動」

自治委員会が主体となり、全校生徒で学校周辺の道路沿いのごみ拾いや若林公民館の除草、溝そうじ、能越自動車道の高架下のごみ拾いなどの美化活動を行い、地域の美化に努めている。年2回、クラスごとに清掃場所を割り振り、細かなごみや隠れたごみも見逃さず、生徒同士が協力して積極的に活動に取り組んでいる。

「さわやか運動」

自治・交通安全委員会を中心に、生徒とPTA保護者等も参加する行事として、生徒玄関と学校前の横断歩道にて、あいさつ運動、交通安全指導を行っている。秋の実施期間に合わせて実施し、初日と2日目には近隣の大谷小学校と大谷中学校の協力を得て、3校合同でのあいさつ運動をその通学路である近隣地域の交差点(水牧)にて実施した。



これまでは大谷中学校出身の生徒が合同あいさつ運動に参加していたが、近年は該当校の出身者が減少しており、同じ市内の石動中学校出身の生徒にも協力してもらいながら、長年続けている。

2 親切運動に取り組んで

本校は、生徒が日頃の専門教科で学んだことを生かしながら様々な活動を継続して行っている。これらの活動を通して生徒は大きく成長し、社会性や奉仕の精神を培ってきたように感じる。学習したことを糧に、地域と結びついたボランティア活動を実践することで、達成感や満足感を味わい、様々なことを身に付けているようだ。

今後も生徒の自発性を高め、自主性を持って「園芸高校だからこそできる活動」を継続、展開し、活動の幅をより一層地域に広げていきたい。